

オニグモの仲間と思われるクモの巣でいっぱいである。このような状態の元で年間に新たに採集ができる蛾は数種程度になるものと予想されるが、今後とも採集を続け、毎年、報告するのが困難であれば、何年分かを纏めて報告するつもりである。

IV. 参考文献

- 講談社 日本蛾類大図鑑
北隆館 原色昆虫大図鑑 I
保育社 原色日本蛾類図鑑上、下

神戸市北区山田町(鈴蘭台周辺)の蛾

松本 健嗣

1. キスジウスキヨトウ *Archanara sparganii* ESPER

1 ♀ 14-VII -1973 北区甲栄台

以前(1979)地元自然保護団体の報告書にガマヨトウとして記したがこれは本種の誤りであった。低層湿地の蛾と云はれ山間盆地鈴蘭台らしい種だと思う。

2. マイコトラガ *Maikona jezoensis* MATSUMURA

1 ♂ 29-IV -1986 北区山田町藍那

稀れな種でこれ迄に知られた産地は北海道から福井県迄の日本海側と中部山地、及び伊豆半島から屋久島に至る太平洋側であり、兵庫県では洲本市で採集されている(1972登日)。上記藍那での記録は近畿中軸、山陽地方では最初ではないだろうか。

以下3種のシャクガ科は余り多くないものとされている。

3. コトビスジエダシャク *Petelia rivulos* BUTLER

1 ♂ 28-VI -1986 1 ♀ 20-VI -1984 山田町藍那

食草はクロウメモドキ科ケンボナシとされており、藍那附近には喬木が多く見られる。

4. ソトシロモンエダシャク *Cleora venustaria* LEECH

1♂9-VI-1982 1♂26-V-1985 山田町藍那

5. ナミスツシロエダシヤク *Myrteta tinagmaria* GUENÉE

1♂22-IV-1985 1♀19-IV-1985 山田町藍那

参考文献

1. 蛾類通信No.73(1973 日本蛾類学会)
2. 藍那地区自然環境調査
3. 原色日本蛾類図鑑(保育社)
4. 原色昆虫大図鑑I(北隆館)
5. 日本産蛾類大図鑑(講談社)

宝塚市清荒神のチョウ(追録6)

加藤信一郎

今年は年初から天候不順で、季節のズレ込みが目立った。地域によりその原因に差異はあるが、日本列島全域にわたって、高地・平地、南北を問わず各地で現われた現象のようである。筆者は6月中旬沖縄本島北部で4日間、那覇で10日余りチョウの調査を行なったが、特に北部では春先から雨が少なく、梅雨に入ってもほとんど降らなかったため、植生の発育が全般に悪く、昆虫の発生期のズレと発生頭数の少なさが顕著であった。清荒神周辺でも例年に比べて発生期の遅れが認められた。

ナガサキアゲハは数頭目撃しただけで、昨年引き続き減少しており、一昨年、昨年と発生したアサギマダラは全く目撃しなかった。ただ、この地域では初めてコツバメが採集されたので報告する。

1. コツバメ *Callophrys ferrea* Butler

1♂. 6-4-1986. 採集場所は清荒神参道脇道東側の疎林々縁の小道で、採品は吸水中のわい小な個体である。採集者谷友晴(同所蔵)。

これで清荒神で確認されたチョウは47属、59種となる。